

びふか

議会

です、心にちは。

2010 / 8 第74号

ようこそ
アシユクラフト村・
添田町歓迎交歓会



第2回 定例会
第2回 臨時会
委員会レポート

2P
8P
10P~11P

この議会広報誌は再生紙を使用しています

▶発行/美深町議会 ▶編集/議会広報編集調査特別委員会 ▶098-2252 北海道中川郡美深町字西町18番地 TEL01656-2-1651 ▶印刷/尚美深印刷

第2回定例会

6月14日～16日

町長等の給与に関する条例

一部改正条例等が可決

平成22年第2回定例会は、6月14日から16日までの日程で開催され、22年度一般会計補正予算（第2号）、条例の一部改正3件、各種組合規約の変更4件、意見書案2件、承認1件、報告1件が審議されいずれも原案可決した。

条例制定

▽美深町長の給与に関する条例及び美深町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

内容 職員の公務中の死亡交通事故に伴い、町長、副町長及び教育長の給料月額について平成22年7月の1ヶ月間に限り減給するものである。

質問 今回町長が10%の処分を科すということで副町長については5%教育長については10%という提案であるが、現在はトップが責任をとって終わるものではないと思うが町長の答弁を求める。

町長 今回の死亡事故は、審査委員会の報告などを踏まえ、任命権者、職場の最高責任者として、襟を正す必要から最終判断をした。

▽美深町国民健康保険条例の一部改正

内容 地方税法等の一部を改正する法律及び、後期高齢者医療制度の一部改正を受けての所要の改正。

質問 一部事務組合と各市町村との関係はどのようになっているのか。

生活環境グループ主幹市町村の窓口は広域連合と連携して受給者

証の交付、保険料を徴収し広域連合に納付するという窓口的な事務を執っている。

▽職員の育児休業等に関する条例及び職員勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部改正

内容 職員の仕事と育児・介護の両立支援を推進するため、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部が改正され、本年6月30日から施行される事に伴う所要の改正。

質問 条例改正に伴い現状での対象者としてはどの程度考えているのか、その部分についての期間は。

総務課長 対象者は結婚し子供が生まれたという形で初めて対象となる。

これからどれだけの対象者が出るのか見込みはたてていない。



第2回定例会の様子

▽北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

▽北海道市町村備荒資金組合の変更について

▽北海道市町村総合事務組合規約の変更について

内容 前記3議案は北海道の支庁制度改革に伴い各組合規約の一部を改正。

活性化促進補助金、道路整備事業等

3752万5千円追加補正

補正予算

一般会計補正予算(第2号)歳入歳出それぞれ3752万5千円を追加し総額41億8157万1千円となった。

主な内容

活性化促進補助金の追加、公用車の購入費、公務災害見舞金の追加、地域観光サポートビジネス実証事業の委託費用の追加、口蹄疫予防対策経費と仁宇布地区給水施設の漏水調査等にかかる費用、地域新



融雪で増水した天塩川

質問 河川費の排水機場委託費は、当初で予算化されているが、増額の理由は。

施設グループ主幹 天塩川の増水による非常時の操作が増額となった。

質問 商工費の新エネルギービジョン策定事業委託料では、委員会を構成し先進地の視察をするとの説明、何を視察するのか。

商工観光グループ主幹 先進地の視察については策定委員の中で決めるが、予算については日帰りを予定している。

質問 公共土木施設災害復旧工事請負費の災害時期はいつ頃なのか、災害場所4箇所と説明があったがどこなのか。

施設グループ主幹 被害の時期は、昨年の秋のパトロールでは該当

箇所が見当たらなかったが、今年の春の雪解け後に被災箇所が分かったので今般の融雪による被災と判明した。

場所等は、仁宇布地区の道路、川西の公園裏の道路、玉川地区の河川、報徳にある大手沢川の4箇所。

質問 公園施設整備事業工事請負費の関係について、コンビネーション遊具の具体的な内容と場所それから対象の遊具の台数は。

施設グループ主幹 遊具を設置する場所は、今計画しているのは駅横のふれあい公園。設置台数については遊具1台の他、施設の整備をする。

対象年齢については3歳から12歳になっている。



ふれあい公園のコンビネーション遊具

質問 幼児センター管理費、仁宇布地区では幼児センター並みの子育てをしようとしている、経費等の考えは。

教育長 仁宇布の森の幼稚園は幼児センターの関わりはないが、地域からの要望があれば今後対応を検討したい。

報告

▽平成21年美深町一般会計繰越明許費報告について

内容 総務費では、地域情報通信基盤整備事業(光ファイバー)、地域活性化・緊急経済対策事業の2事業で総額16億1370万円。民生費では、子ども手当システム導入事業で総額333万円。

農林産業費では、家畜担い手育成総合整備事業、美深町畜産担い手育成総合整備事業の2事業で総額3397万5千円。消防費では、防災情報通信整備事業で総額438万5千円。

意見書を提出しました

地域の声を国や道へ

北海道農業の発展に必要な生産基盤整備などに関する意見書(要旨)

我が国の農業をめぐる情勢は、WTOや日豪EPA国際農業交渉が進む中で、担い手の減少や高齢化の進行など厳しさを増しており、加えて、農産物価格の下落や生産資材価格の高騰など農業者の努力だけでは解決できない課題に直面している。平成22年度における農業基盤整備事業の予算額を交付金化の方向を取り入れながらも大

幅に削減している。

地域の個性を生かした多様な農業を展開できる実効ある政策が実現されるよう要望する。

一、食料供給力の確保を図るため、農業農村整備事業の必要な予算の確保を図ること。
二、生産基盤整備の効率的・効率的な促進を図るため、地域の創意工夫を生かした整備が可能となる制度の見直しの検討を図ること。
三、食料自給率向上や、流通システムを確立するため地域が計画していた施設整備のための

必要な予算の確保。

提出者 南 和博議員
賛成者 倉兼政彦議員

ワクチン接種に関する意見書(要旨)

我が国では毎年、一千人以上の5歳未満児が細菌性髄膜炎にかかっている。

その原因の6割がインフルエンザ菌b型(HiB)によるもの、WHO(世界保健機構)は1998年ワクチンの無料接種化を勧告、わが国は2008年12月に任意接種がようや

く始まったが、費用は約3万円以上にのぼるなど、若い世代の保護者にとっては負担が重く、接種の障害となっている。

また、子宮頸がんは、年間で約1万5千人が発症し、3,500人が死亡している、その原因はヒトパピローマウイルス(HPV)の感染であることが解明され、2009年12月よりワクチンの任意接種が可能となったが、3回のワクチン接種費用は約5万円と多額のことから。

一、細菌髄膜炎を予防接種法の定期接種対象の1類疾病として国が承認するまでの間、北海道が補助すること。
二、子宮頸がんを予防接種法の定期接種対象の1類疾病として国が承認するまでの間、北海道が補助すること。
三、細菌性髄膜炎及び子宮頸がんを予防接種法の定期接種対象の1類疾病と位置づけるよう国に要望すること。

提出者 倉兼政彦議員
賛成者 斉藤和信議員

3人の議員が施策を問う

一般質問席

諸岡 勇 議員

南 和博 議員

倉兼政彦 議員



諸岡 勇 議員

1 芸術・文化活動の推進について

質問 芸術文化伝承活動の推進について、町内の銘木巨木でハル榆、エンジュ、ソメイヨシノ、エゾヤマザクラ、イタヤ、アカシヤ等あるが保存木とすべきに思う。

また、道有林内の巨木も森づくりセンターと協力のもとで地図におとし番号など付けて案内されたが、その後保存管理はどうなっているのか伺う。

歴史ある建物では美深駅跨線橋などあり、北海道の遺産は五十年を過ぎたものが対象になる申請ができないか伺う。

教育、開拓の発祥地などでも郷土研究会活動での石碑の資料集が発刊されているがこれらを参考に保存表示すべきものと思うが考えは。

天塩川のびふか温泉近くの熊を撃つヤナの名所看板を改修すべきである。また、博物館の展示方法で旧態依然と変化がない、工夫を加えた交換展示ができないか伺う。

町内名所巡りをウォークラリーの愛好者コースで、また、町外観光者に案内提供ができないか伺う。

文化活動の専門委員の配置は。

教育長 体育館前のハル榆は昭和48年に道の保護林として指定を受けている、道有林内など21箇所ほど平成2年から4年にかけて表示作業をしたが、現在木の状態、継承に値するかの議論があり難題。

建物、天塩川の遺跡については、文化史跡として長年保存は頭が痛い課題だが町として将来に残すための調査をすべきと考える。

博物館、JR展示に工夫が必要で頻繁に変える事に難しい面があるが身近なものの展示方法に試行錯誤したい。

名所散策に町外の方にも一目で解るように考えていきたい。

郷土研究会の活発な活動は他の町に誇れる伝承活動で、今後協力、相談をしたい。

学芸員の配置はしていないが開拓120年に向けて後世に残す活動にしたい。

問 巨木銘木・名所を町おこしに

答 120年の後世に残す活動を



美深町の教育のシンボル「ニレの木」



南 和 博 議員

- 1 口蹄疫問題への美深町の対応について
- 2 民生委員の位置づけと今度のあり方について

問 口蹄疫問題 ～ 対岸の火事ではない

答 進入防止に努める

質問 本年4月に宮崎県において発生した家畜伝染病口蹄疫は20万頭に及ぶ処分を強いられ日本の畜産史上未曾有の大災害となっており、わが町においても畜産酪農業が盛んであり対岸の火事ではない。進入防止策はもちろ

ん、仮に発生した場合の美深町としての早急な対応が必要ではないのか。

町長 当町としても家畜防疫推進協議会において鋭意進入防止に努力しており、所要の経費についても補正予算を組んで対処したい。

また、家畜保健衛生所を招いて事務局会議を開き町内における防止対策を確認したところであり、北海道全体で徹底が図られている。仮に発生した場合は

関係機関で口蹄疫対策協議会(会長 町長)を設置し、通行・移動・搬出制限、埋却地の扱い等諸般の協議を開始しているところ。

今、町としては各所に防疫マット、農家の出入り口に消石灰の散布をお願いして進入防止を徹底している。



消石灰の散布で口蹄疫対策

質問 一般町民にも徹底必要であり、特に不特定多数へ出入りする宅配業者や郵便局の配送などへの通達、さらには観光シーズンとなり道外からの来訪者への広報活動も必要ではないのか。

また、宮崎県での感染拡大の一因に埋却地の選定に時間がかかったことを考えれば、わが町の家畜生産農家とあらかじめ埋却地の選定協議が必要では。

町長 周知徹底については全道単位で各業界に指導しているが更なる徹底を図る。観光におけるイベント等については防疫体制を徹底して実施したい。

埋却地については町有地や農家と協議の中で遅れることなく確保できると考えている。

問 民生委員 ～ 定数減慎重に

答 当面は現状で



民生委員会の活動

質問 民生委員は、本年11月に改選となるが地域に根ざした活動が求められる仕事であり、今後の高齢化を考えれば定数の増あるいは待遇の向上、サポート体制を充実すべきではないか。

町長 地域の実情を踏まえた配置にしているが、民生委員の役割が近年、多種多様化しており地域にふさわしい体制となるよう町としてもあり方を整理して

いきたい。

法律上、民生委員は無報酬だが、当町では福祉委員も兼務いただき福祉委員として報酬及び費用弁償を支給している。あえて待遇向上するならばその立場で検討したい。

サポート体制はプライベートに関しない部分で町としても連携したい。



倉兼政彦 議員

- 1 更なる子育て支援策の推進について
- 2 食育と学校給食について
- 3 予防医療の推進について

質問 新規就農者の子育て支援策について伺う。

子育て支援は、農業者に限らず若き保護者に共通する課題でもある。しかし、初期投資の非常に大きい新規就農者にとって、債務返済のため営農所得を上げる事が要求され、その事が幼児センター保育料の徴収基準にも関係し、特に2人以上のとき徴収額が大きくな

問 子育て支援に特例策を

答 見極めとまとめに時間が必要

町長 内容は承知をしており、話を聞かされた時戸惑いも感じたが、難しい問題とされている。子育て支援について、重視する基本的な考えがあり、見極めとまとめに少し時間がほしい。



幼児センターの子どもたち

問 学校給食の実施の議論を

答 種々の意見は承知

給食の議論を深めては

質問 児童保護者に対するアンケート調査結果に学校給食を実施すべきとの意見が多く出されていた。

また、個人的にも給食実施を要望意見も聞いている。

子どもに給食を通して食の道徳を学ばせる事も、食育という教育の大切な目的ではないか。

町長 10年前に給食実施計画を白紙にした経過があるが、町内に種々の意見がある事も承知しており、議論の手がかりにしたいので少し時間がほしい。

教育委員長 多様な意見を踏まえ大きな課題と認識しており、しっかりと見極めて行かね

ばと思う。

教育長 食育は教育現場で取組んでいる。

給食問題は白紙の経過もあり、議論には至っていないが、幼児センター給食がスタートした事もあり、十分認識しながら議論をしていく。

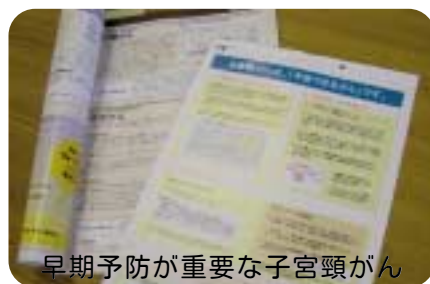
問 予防ワクチンに助成を

答 今後の検討課題

質問 昨年10月子宮頸がんワクチンの予防接種が認可され、10代で接種すると将来子宮がんの75%を予防できるとされている。

しかし、接種料が5万円程度になる事から助成策が必要。

町長 接種対象者が子どもであるため、保護者の認識をどう深めるかが重要であり今後の検討課題となる。



早期予防が重要な子宮頸がん

情報をより早く

光ファイバーの整備実施

防災情報端末機設置(全世帯)の基盤整備事業
地上デジタルテレビ放送難視聴地区解消対応等

第2回臨時会は平成22年4月26日開催され、専決処分の承認1件・条例の一部改正1件・工事請負契約の締結1件・損害賠償額の決定1件・補正予算1件について審議されいづれも原案可決した。

▽専決処分の承認

美深町まちづくり応援基金寄附金として寄付を受けた3件507万5千円を、一般会計歳入歳出予算に追加。

▽条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、美深町税条例に定める個人住民税・特別土地保有税・たばこ税に係わる一部改正。

▽工事請負契約の締結

美深町地域情報通信基盤整備工事(光ファイバーの整備)を契約金14億3,850万円で株式会社NTT東日本北海道と工事請負契約を締結。工期は平成23年3月18日。

質問 町内電気工事業者への波及効果は、

また、故障不具合等が生じたときのメンテナンス、保証期間の設定は。

総務課長 町内業者で対応できる工事として配電盤の設置、配電工事等が期待できる。また、端末機の故障等が起きた場合は町費



建設中の光ファイバー中継局(IPボックス)

対応となるが、不注意による故障は基本的には所有者負担になる。なお、保証期間は1年。

質問 端末機の設置は強制的なものか、また、公共施設への対応は。

総務課長 個々の同意が必要であるが、本工事の目的は防災情報発信である事を説明し、理解を得て設置を進めるほか、地域コミセン・自治会館・事業所にも設置する。

質問 設置後の居住移動時対応は。

総務課長 個々に設置する端末機は貸付の形となっており、転出時には返してもらい、転入者のためストックを持ちながら対応したい。

質問 工事完成後は防災通信のほかインターネットも利用可能と思うがその仕組みは。

総務グループ主幹 光ケーブルは全町に2本走らせ、1本は地上デジタルと防災設備のため美深町の中だけに限定し、残りの1本は今までのNTT等が使用している電話線と光ケーブルをつなぐためインターネット等にも活用可能となる。

▽損害賠償の額の決定
町職員が運転する公用車の交通事故に係わる示談成立に伴い、町側の損害賠償額が決定。過失割合は町側8、相手側2。

質問 当日の公用車の車両管理状況と運行管理体制は、また、運転者(町職員)の健康状態は。

教育グループ主幹 エアリアル大会を控え、任務に追われていた向きはあったが、健康状態は普段と変わらない状況であった。



事故防止啓発看板

教育次長 車両管理は
公用車運行管理服務規
程に基づき対応してい
る。

総務課長 上司の管理
責任等については今後
一定の結論を出してい
きたい。

質問 以前から8線、
9線の道道交差点の危
険を指摘してきたが、
事故防止対応は。

町長 関係機関と協議
の中で、8線交差点に

信号機設置の上申を警
察署から道の方に上げ、
町からも早急の対応を
要望しているほか、交
差点付近の視界確保を
検討している。

▽一般会計補正予算

交通事故に伴う損害
賠償金を支出するため
の予算追加で、一般会
計の補正額を歳入歳出
それぞれ104万6千
円追加して補正後の予
算総額を41億4、40
4万6千円とした。

全道議員研修会に

参加しました

平成22年度町村議長
会主催の北海道町村議
会議員研修会が7月1
日に札幌市で開催され
た。

講師には経済産業研
究所の山下一仁氏から
『農業ヒックバンの経
済学ীগローバル化と
人口減少時代の農政改
革』と題し①改革の
必要性。②日本の農業
保護の構造と原因。③
改革の内容では、直接
支払いで関税・価格引

下げに対応する。構造
改革に遅れた日本での
具体案など示された。

また、白鷗大学教授
福岡政行氏から机上の
研究よりもフィールド
ワークを重視し、何事
にも現場を観察するこ
とが肝心とし全国各地
から得た生の情報をも
とに、実証的政治学の
研究から政局展望につ
いて講演された。



会場 札幌コンベンションセンター

歓迎 行政視察

▼平成22年4月7日、
幌加内町議会議員9名、
事務局2名計11名が来
町。



幌加内町議会視察

調査事項
・地域振興策の実情、
取り組みについて
・議会活性化の取り組
みについて。

▼平成22年4月22日、
今金町産業教育常任委
員5名、議長、事務局
計7名が来町。
調査事項
・新規就農者に対する
町独自の支援施策に

ついて。

・新規就農支援組織
「R&Rおんねない」
の活動と就農者の現
状について。



今金町議会視察

▼平成22年5月22日、
岡山県真庭市議会議員
6名が来町。
調査事項

・水源の里活動と特産
品開発について
・水源の里シンポジウ
ム参加の経緯と今後
の活動について
・特産品とその開発に
ついて
・美深町の文化や生活
について

委員会レポート

..... 総務住民常任委員会 4月21日

行政改革推進について

公用車の運行管理状況
公用車運行管理服務
規程を設ける中で、安全
全運転管理者を発令し、
職員に対し安全運転の
遂行を促している。

安全運転管理者は総
務課長、産業施設課長、
住民生活課長、教育グ
ループ主幹の4名を配
置し、運転者に対し、
無免許、酒酔い、過労
運転、積載制限違反を
犯させない。

調査のまとめ

公用車75台が所属の
部局に配置し管理運行
され交通の利便性、行
政の効率等から特殊車
両を除く車両の運転を
一般職員が運転してい
るが、交通安全面から
課題が残る。

3月11日に発生した
死亡事故を教訓に二度
と事故を起こさないた
めにも全職員に安全運
転の意識高揚の方策を
講ずべきである。



安全運転の呼びかけ

自治会連合会と各連絡
協議会等との関連

①美深町自治会連合会
②美深町衛生部連絡協
議会

③美深町自治会女性部
連絡協議会の3部構
成

町費補助は、平成12
年度から一括130万
円を自治会連合会へ補
助し、連合会から衛生
部、女性部連絡協議会
に交付している。

調査のまとめ

自治会組織は、平成
元年に町が制定した
「美深町自治会に関す

る条例」に基づき、17
自治会が自主的に組織
され、その後自治会連
合会を組織する中で地
域間の連携を図りなが
ら特色ある住民活動が
展開され町おこしに貢
献している。

各自治会が組織され
て20年以上経た今日地
域内の過疎化や高齢化
が進む中でトップリー
ダーを始め、後継活動
家の発掘が大変である。
行政側においても、
地域内の実情を把握す
る中で地域の自主性を
尊重しながら地域依存
型にならないよう方策
を講ずべきである。

議会改革特別委員会

議会改革特別委員会
は、地方分権時代を迎
へ地域主権をめざし議
会に関する25項目につ
いて協議検討している。

4月以降毎月1回部
会と全体協議の特別委
員会を開催している。
委員会では現在、政
務調査費について「政
務調査費使途基準の運
用指針」案で協議した。
議員個人のホームページを調査費として認め

ないこと等を決定、議
決事件の追加では町総
合計画の基本構想のみ
で基本計画まで審議で
きないとの結論に落ち
着いた。

議会傍聴者への資料
提供に持ち帰りは認め
ないが定例会、臨時会
に提供することで町理
事者協議を進めている。



議会をより身近なものに

こんなこと調査しました

産業教育常任委員会 4月22日

美深駅売店の運営状況について

美深駅売店改築後の運営は美深町の観光案内や地場産品の展示PRなど情報発信及び観光客のニーズを把握していく。

美深駅売店業務内容

①町の観光案内の情報発信対応

②地場産品の展示販売及びPR

③美深駅利用者の利便性確保に努める。

美深駅売店運営体制

①美深町観光協会が運営で商品管理は㈱アウル

②職員は、臨時職員2名で一日交替勤務

③開店時間は、8時30分～16時30分

④通年営業(元日休み)

びふかアイランドの運営について

現施設の状況

①美深町林業保養セン

ター

②美深農林漁家高齢者センター

③美深ふるさと館

④美深チョウザメ館

⑤びふか森林公園

調査のまとめ

現施設の中で特にチョウザメ館の見学者数も増えているように思われる。

ここ2年ほどふ化に成功されていることから今後は料理・販売等に方向転換していく努力をしていただきたい。

森林公園についても来場者の入込が増えて



見学者が増加するチョウザメ館

いる、キャンプ場内において軟弱地盤があるといわれている、早急に整備が必要では。

また、順路案内板には外国語での明記も必要と思われる。

トロッコ王国の安全対策と観光マネジメントの方向性について

安全対策

①運行開始の点検と定期点検の実施

②利用者への安全走行説明の徹底

③保線経験者による保全の管理に務める

調査のまとめ

今年から他町村でトロッコ運行の開始で入国の減少が予想され仁宇布地域の新たな観光の魅力づくりに早急に取り組むべきで新たな視点、発想で観光客誘致が望まれ安全面事故対策で補償体制の充実を図る必要がある。

議員投稿



議員 藤守

「雑感」

日銀高松支店長、四ツ谷駅長、日本航空機長等に初の女性長が誕生。

7月に入りこんな記事がマスメディアによって報じられた。

この報道を目にした時、まだほんの一握りの女性にしか門戸が開かれていないことに今更ながら驚いた。

今、結婚しない男女が多いと聞く。一つの要因は女性の社会進出にあり、築き上げた仕事優先となり結婚に幸せと思わない現状でないか。

その背景に家庭と仕事の両立の難しさが要

因となっているのかな？ 国はこのような問題を回避すべく、男性による育児休暇、介護休暇等の法律を整備し、このことにより、女性の社会参加の充実を図り、あわよくば少子化の歯止めにつなげたい。

自らの子育て時代を振り返る：小さな町に四か所の保育所。

暗黙のうちに子育ては地域全体での体制が出来上がっていたが、法律が整備されたと言いが活用できる環境整備が充実されていないければ法律もただの文章でしかないのでは。

世の中、男性と女性で成り立っていること間違いなし。

仕事に子育てに高齢者介護にと共に知恵と力を出し合い心の通った安心して住めるまちづくりのためにあなたの声を聞かせてください。

今、町が今後10年間の住民みなさんの生活設計を作成最中です。

設計を作成最中です。

議 会 活 動 日 誌

《4月》

- 7日【委員会室】第13回議会改革特別委員会部会
【委員会室】幌加内町議会来町
- 21日【委員会室】総務住民常任委員会所管事務調査
- 22日【委員会室】今金町議会産業教育常任委員会来町
【委員会室】産業教育常任委員会所管事務調査
- 26日【委員会室】議会運営委員会
【議 場】第2回臨時会
【議員控室】第12回議会改革特別委員会
- 28日【COM100】平成22年度COMカレッジ110
美深大学入学式… 写真①

《5月》

- 6日【委員会室】議会広報編集特別委員会
(~12・20日)
- 18日【委員会室】岡山県真庭市議会来町
- 19日【委員会室】第14回議会改革特別委員会部会
【議員控室】第13回議会改革特別委員会
- 27日【旭川市】道北林活議連連絡会総会
- 30日【下川町】第61回北海道植樹祭 in 下川町… 写真②

《6月》

- 3日【町 内】平成22年度樹霊際並びに植樹祭… 写真③
- 4日【COM100】平成22年度金婚祝賀会… 写真④
【議員控室】全員協議会
【委員会室】第15回議会改革特別委員会部会
- 8日【委員会室】議会運営委員会
- 14日【議 場】第2回定例会
- 16日【議員控室】第14回議会改革特別委員会

《7月》

- 1日【札幌市】全道議会議員研修会
- 8日【委員会室】第16回議会改革特別委員会部会
- 11日 第22回参議院議員通常選挙投票日
- 16日【委員会室】第15回議会改革特別委員会
- 27日【委員会室】産業教育常任委員会所管事務調査
- 28日【委員会室】第17回議会改革特別委員会部会
【和寒町】5町議会議員研修会… 写真⑤
- 30日【委員会室】総務住民常任委員会所管事務調査



編集後記

今年、春先の雪解けが大幅に遅れようなることかと心配されたがその後好天にも恵まれ一安心となった。しかし、近年は全国的にも豪雨が多く大きな被害が発生した。また、九州では、家畜伝染病の口蹄疫が発生、28万8千頭が殺処分され戦後最大の畜産被害となり関連産業にも多大な影響を及ぼしている。この様な状況下での先の参議院選挙では、与党民主党が大敗、またもねじれ国会となり不安定な政治状況となりそうだ。

政治に望むのは、政局の駆け引きではなく、将来に安心のもてる政策であることを与野党の政治家に期待したい。広報編集委員会
◎諸岡 勇○村山 勲
今泉常夫・菅野勝義
越智清一・齊藤和信
(◎委員長○副委員長)